



田中 唯登志 議員

若者向け定住促進住宅の建設は

坪根町長 総合的に判断して検討する

岡町営住宅の入居状況は。
佐矢野住民課長 現在11団地166戸を管理している。その内2月末現在の入居数は118戸で野間・緒方・新池・唐の里の4団地80戸については、全て入居している。その他、新規入居募集をしていない団地は、86戸のうち38戸入居となっている。

岡それぞれの築年数は。
佐矢野課長 野間団地が築25〜26年、緒方団地が築26年、新池団地が25〜26年、唐の里団地が15〜17年である。

岡新たに入居時のリフォームは。
佐矢野課長 退去する方が襖の張替え、畳の表替えなどを行い、町が配管などの修理やハウスクリーニングを行っている。



上野地団地(下唐原)



照日台団地(安雲)

ングを行って次の入居者を迎えることになる。

岡若者向けの定住促進住宅の考えは。
佐矢野課長 平成31年度から順次建て替えるように、長寿命化計画では計画している。若者定住促進ということでは、建て替えの計画がない住宅の跡地をどうするかという検討が必要と考える。

岡町営ではなく民間に補助金を出して建築してもらう考えは。
佐矢野課長 PFI方式※を使つたやりかたもある。そういうものを含めて総合的に判断していきたい。

※PFI方式
民間が事業主体としてその資金やノウハウを活用して公共事業を行う方式。

げんきの杜の指定管理は

岡建設年度及び施設の内容は。
古原教務課長 平成12年1月末に竣工しており、17年が経過している。施設の内容は、多目的ホール・研修室・視聴覚室・陶芸室・大広間・トレーニングルーム・浴場・図書館が主なものである。

岡上毛町社会福祉協議会との指定管理の締結内容は。

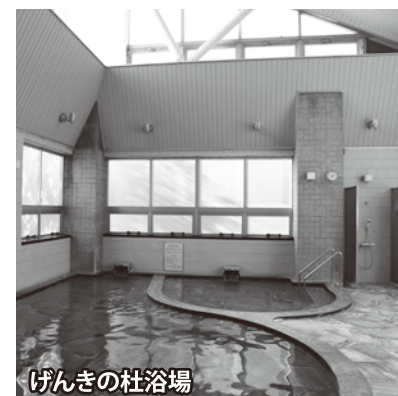
古原課長 指定管理については平成19年度から指定管理を行っており、現在27年度から5年間、平成32年3月31日まで契約を締結している。

岡現在までの主な修理箇所は。

古原課長 平成21年度に外壁改修工事1850万円、平成23年度に浴場の天井改修工事1270万円、平成27年度に屋上の防水工事4177万円、平成28年度は現在561万円の修繕をしている。

岡過去5年間の浴場利用者及び収支状況は。

古原課長 平成24年度5万900人、25年度5万7200人、26年度5万5200人、27年度5万3400人、28年度は1月末で4万1000人です。過去5年間の町内利用者の調査を行った事はないが平成28年5月から平成29



げんきの杜浴場

岡今後町としての方向は。

坪根町長 町内の浴場利用者が少ないのであれば、指定管理者である社会福祉協議会とも十分協議しながら、今後のあり方について検討していきたい。

直売所を活用した支援を考えている。

部活動の顧問は

岡教職員数の基準及び実情は。
道免教育長 公立義務教育小学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律に基づき、県費負担教職員及び町負担教職員がいる。

岡生徒が減少しているが、上毛中の状況は。

教育長 来年度、3年生のみ3クラス、後は2クラス、特別支援学級が2クラスとなる予定である。

岡部活動の現状は。

教育長 現在、運動系10、文科系2で加入率は83.5%。顧問は複数配置を基本としているがバレーは1名である。

岡全国に名高い実績を持つバレーは負担が大きいと思うが。

教育長 校長のヒアリングでは、強くなるほど大会や練習試合が多くなり非常に負担感が大きい状況にある。現在、バレーは外部指導者が1名、部活動全体では6名いる。

岡部活動に携わっている生徒の保護者などの努力があつてこそ問題がなかったと感じる。引率など外部の協力が必要では。
教育長 学級数がふえない限りは顧問がふえない。部活としてこの

まま維持できるのか、難しい問題をはらんでいる。部活全体の数や指導体制など検討せざるを得ない状況もある。

岡今後、2クラスが続くと思うが、顧問の配置が厳しいのでは。

教育長 今後の指計では、平成30年度が最も厳しく、基準では6クラスで教職員数が10名となり、現在より7名減となる。顧問1名体制でも配置が厳しく様々な視点で検討している。

岡早急な検討が必要では。

坪根町長 何が今足りなくて、何が必要なのか十分調査して考えていく。

岡国の調査で部活動の休みを定めていない学校があると聞くが実態は。

教育長 上毛中では月曜日をノー部活デーとしている。また定期考査の前は3日程度練習を休んでいる。

公共施設の洋式トイレ化は

岡公共施設のトイレの洋式化は進んでいるか。

岡崎総務課長 庁舎、支所、中央公民館及び支館、コミュニティセンター2カ所、グラウンド、体育施設は概ね半数は洋式になっている。

岡手すりの設置はどうか。
岡崎課長 手すりなどは介助の観点から、今後設置の方向性で検討する。

岡近隣では全て洋式トイレの学校もあるが、小中学校は。

古原教務課長 南吉富、唐原小学校の教師用トイレを除き、数は別として洋式がある。

岡住環境が変わり家庭のトイレも洋式化が増えている。学校でトイレができない子どもがいる。もっと洋式化を進めるべきでは。

古原課長 洋式化の需要が高まっている。財政と相談し、取り組みが必要と認識している。

以前(一般質問)の検討結果は

岡ヒロリ菌検査の公費負担は。
垂水(英)子ども未来課長 本町は他の市町村に類のない公費助成により、従前の胃がんリスク検査とセットで胃がんリスク検査を無料で行えるよう予算計上をしている。

岡インターネット光回線の普及状況は。

福田企画情報課長 「総合戦略の基本目標」にある31年までの普及を検討していきたい。

三田 敏和 議員

今後の転作政策はどう変わる

垂水(勇)産業振興課長 県が示す生産量が目安となる

岡転作、就農者実績、29年目標は。
垂水(勇)産業振興課長 転作率は52.5%、主食用米の作付率は47.5%で、飼料米を合わせた作付率は54.9%。就農者は前年対比約5%の減。29年は48%以上の転作をお願いしている。

岡平成30年以降、転作が無くなるという話があるが。

垂水(勇)課長 国の生産数量目標の配分は、平成29年産米が最後で、平成30年以降は生産者や集荷業者、その団体が中心となって、需要に応じた生産を行うことになる。具体的には、県が示す生産量の目安となる指標に基づいて、作付計画を策定し、需要に応じた生産を行うこととなる。

岡今後、生産者は経営判断や販売戦略に基づき、自ら考え作物の数量を決められるのでは。

垂水(勇)課長 罰則などはないが、地域農業を守るために町、農協など、引き続き県が示す指標に基づいた作付をお願いしたい。

岡交付金がなくなる中、周辺の小規模農家がブランド米、売れる米を作り、売ることも経営ではないか。

垂水(勇)課長 足腰の強い農業者を育てるには、大規模農家に農地を集積することで生産性の向上を目指すしており、小規模農家の方には